

輸送動向について(10月分)

平成17年11月

1. 輸送概況

今月は、上旬に山陽本線で大型自動車線が線路の橋桁に衝突した事故の影響により高速貨8本が運休した他、人身障害事故等による列車の遅延も一部で発生したものの、月全体では概ね順調な輸送状況であった。

荷動きについては、輸送量全体で前年比100.4%となったが、前年は2度に亘る台風上陸があったこと、並びに10月23日に発生した新潟県中越地震により上越線、信越線が長期間に亘り不通となった大規模輸送障害を考慮すると、本年の実績は低調なものであった。

コンテナ貨物では、特に化学工業品、積合せ貨物等が前年を下回ったものの、北海道を中心に飼料米が大きく増送となった政府米や民間流通米が好調であった農産品、及び新潟県中越地震等の影響により昨年が減送となった紙パルプ等が前年を上回り、コンテナ全体では前年比103.5%となった。

車扱貨物では、平均気温が平年より高めに推移したことや価格高騰による需要減の影響を受け、灯油や重油を中心に石油が前年を大幅に下回り、前年比95.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,022	1,954	103.5%	12,936	12,848	100.7%
車扱	1,143	1,198	95.4%	7,677	7,818	98.2%
計	3,165	3,152	100.4%	20,613	20,666	99.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	114	99	15	115.2%
	生野菜青果物	140	140	0	100.0%
	化学工業品	185	191	-6	96.9%
	化学薬品	156	144	12	108.3%
	食料工業品	280	271	9	103.3%
	紙パルプ等	320	297	23	107.7%
	他工業品	135	134	1	100.7%
	積合せ貨物等	227	232	-5	97.8%
	自動車部品	52	44	8	118.2%
	エコ関連物資	38	34	4	111.8%
	その他	375	368	7	101.9%
コンテナ計	2,022	1,954	68	103.5%	
車扱	石油	664	727	-63	91.4%
	セメント	126	126	0	100.0%
	石灰石	56	54	3	105.1%
	車両	135	133	2	101.6%
	紙・パルプ	44	42	2	105.3%
	化学工業品	47	48	-1	98.9%
	その他	70	70	0	100.0%
車扱計	1,143	1,198	-55	95.4%	
合計	3,165	3,152	13	100.4%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)